

## ご功績

### 尼崎市民芸術賞

あかまつ たまめ  
赤松 玉女

尼崎市出身の日本を代表する美術家であります。

一貫して絵画表現に取り組み、京都市立芸術大学在学中より、創作活動は高い評価を受けられてきました。卒業後はフレスコ画の本場であるイタリアへの研修の機会を得て、技法の研究のみならず、新天地で表現の幅も豊かにし、創作活動・発表をつづけてこられました。

帰国後は母校で教鞭をとり、後進の育成に取り組み、多くの若い才能を伸ばしてこられました。

2019年からは京都市立芸術大学理事長兼学長に就任、日本でもっとも歴史のある芸術大学において、初めて誕生した女性学長として、大学運営に携わっておられます。

これらの活動は、本市の芸術文化の振興に多大なる貢献をなされております。

## 略歴

赤松 玉女（あかまつ たまめ）

分野：美術

### 【経歴】

- 1959年 兵庫県尼崎市生まれ
- 1983年 第30回全関西美術展(全関賞3席、大阪市立美術館)
- 1984年 第2回京都府美術工芸選抜展(京都府買い上げ)
- 1984年 第31回全関西美術展(読売テレビ局賞、大阪市立美術館)
- 1986年 第33回全関西美術展(全関商1席、大阪市立美術館)
- 1989年 イタリア滞在(～1992年)
- 1993年 京都市立芸術大学美術学部 着任
- 1999年 京都市新人賞受賞
- 2001年 ローマにてフレスコ技法研修(～2002年)
- 2009年～ 障害児・障害者を対象にしたアート活動に携わる
- 2016年 「あまがさきを彩る女性作家たち」展(尼崎市総合文化センター)
- 2019年 京都市立芸術大学 理事長兼学長に就任